

平成30年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年8月14日

上場会社名 株式会社リアルワールド 上場取引所 東  
 コード番号 3691 URL <http://realworld.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 菊池 誠晃  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役最高財務責任者 (氏名) 石塚 明 (TEL) 03-5114-3580  
 四半期報告書提出予定日 平成30年8月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無 ( )

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年9月期第3四半期の連結業績 (平成29年10月1日～平成30年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年9月期第3四半期	3,394	1.2	△173	—	△166	—	△204	—
29年9月期第3四半期	3,354	△2.1	△16	—	△1	—	△66	—

(注) 包括利益 30年9月期第3四半期 △195百万円( —%) 29年9月期第3四半期 △44百万円( —%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年9月期第3四半期	△67.07	—
29年9月期第3四半期	△24.48	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年9月期第3四半期	4,091	1,636	35.4
29年9月期	3,487	933	21.7

(参考) 自己資本 30年9月期第3四半期 1,449百万円 29年9月期 757百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
30年9月期	—	0.00	—	—	—
30年9月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年9月期の連結業績予想 (平成29年10月1日～平成30年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	4,350	0.3	40	—	40	—	0	—	0.00	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 1社(社名) 株式会社リアルX 、除外 1社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年9月期3Q	3,430,600株	29年9月期	2,744,400株
② 期末自己株式数	30年9月期3Q	65株	29年9月期	65株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年9月期3Q	3,045,939株	29年9月期3Q	2,736,857株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における予測値及び将来の見通しに関する記述・言明は、当社グループが現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づいております。その判断や仮定に内在する不確実性及び事業運営や内外の状況変化により、実際に生じる結果が予測内容とは実質的に異なる可能性があり、当社は将来予測に関するいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P 2
(1) 経営成績に関する説明	P 2
(2) 財政状態に関する説明	P 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P 8
(継続企業の前提に関する注記)	P 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P 8
3. その他	P 9
継続企業の前提に関する重要事象等	P 9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（平成29年10月1日～平成30年6月30日）における我が国の経済は、輸出・生産活動に加えて、設備投資や個人消費は緩やかながらも持ち直してきているものの、外国人労働者の受入拡大などを日本政府も方針示しているが、生産年齢（15～64歳）人口が減少し続けていることもあり、国内企業における人手不足感は増々強くなってきており、労働力不足が成長の足かせとなっている側面も見られます。

そのような中、当社グループを取り巻く広告市場においては、インターネット広告費の成長は顕著であり、総広告費に占める割合も増加の一途をたどっている。更に携帯端末における次世代通信規格・5Gの導入が期待され、インターネット広告の更なる成長が見込まれます。

また、BPO市場も前述の雇用環境も起因して拡大の一途をたどっているとともに、日本政府が進める「働き方改革」による労働のあり方にも変化が顕在化してきており、新たなビジネスチャンスが期待される場所があります。

当社グループはこのような事業環境下、「暮らすこと、働くこと、新しいこと ネットを通じて社会基盤を作る」というビジョンのもと、クラウドソーシング事業、クラウドメディア事業及びフィンテック事業を中心として、それぞれのライフスタイルに合わせた可処分時間を可処分所得に変えるサービスを「稼ぎ方革命」と銘打って推進しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は3,394,990千円（前年同四半期比1.2%増）、営業損失は173,673千円（前年同期営業損失は16,812千円）、経常損失は166,736千円（前年同期経常損失は1,806千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は204,287千円（前年同期親会社株主に帰属する四半期純損失は66,994千円）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントとして記載する事業セグメントを変更しており、当第3四半期連結累計期間の比較・分析も、変更後の区分に基づいております。

## a. クラウドソーシング事業

様々なライフスタイルに合わせた働き方サービス「ワークエコシステム」の拡充を推進しております。従来からのCROWDワーカーによる労働力提供をBPO事業子会社における労働力へ転嫁できるよう取り組み、CROWDワーカーの活躍機会の創造に注力してまいりました。

しかしながら、売上・利益ともに前年には未達となってしまいました。

以上の結果、クラウドソーシング事業の売上高は1,560,910千円（前年同四半期比4.2%減）、セグメント利益は126,186千円（前年同四半期比66.6%減）となりました。

## b. クラウドメディア事業

第2四半期に業務提携したE PARK社の提供サービスへの送客など、ポイント会員のポイント獲得機会・獲得額の増加にむけて取り扱いメディア数やポイント付与割合の増加を図ってまいりました。

以上の結果、クラウドメディア事業の売上高は1,819,340千円（前年同四半期比6.0%減）、セグメント利益は59,384千円（前年同四半期比71.4%減）となりました。

## c. フィンテック事業

クラウドメディア等で獲得したポイントを現金もしくは現金以上に利便性の高い物とすべく、交換先の拡大を図ってまいりました。

以上の結果、フィンテック事業の売上高は14,739千円（前年同四半期比67.6%増）、セグメント損失は5,117千円（前年同四半期セグメント損失は11,093千円）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### ① 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間における資産、負債及び純資産の状況とそれらの要因は次のとおりです。

#### (資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、2,729,369千円（前連結会計年度比276,428千円の増加）となりました。これは主に第三者割当増資に伴う現金及び預金の増加によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における固定資産は、1,356,990千円（前連結会計年度比324,333千円の増加）となりました。これは主に株式会社E P A R Kからだりフレへの出資に伴う投資有価証券の増加によるものであります。

この結果、総資産は、4,091,662千円となりました。

#### (負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は、1,937,269千円（前連結会計年度比86,428千円の増加）となりました。これはクラウドメディア事業における買掛金・未払金の増加によるものであります。

第3四半期連結会計期間末における固定負債は、517,908千円（前連結会計年度比185,587千円の減少）となりました。これは約定による長期借入金の減少によるものであります。

この結果、負債は、2,455,177千円となりました。

#### (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、1,636,484千円（前連結会計年度比703,053千円の増加）となりました。これは主に第三者割当増資に伴う資本金及び資本剰余金の増加によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成29年11月14日の「平成29年9月期決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,308,688	1,355,097
売掛金	664,141	899,825
仕掛品	52,197	64,374
貯蔵品	21,092	20,634
繰延税金資産	139,971	163,969
その他	267,982	225,698
貸倒引当金	△1,133	△231
流動資産合計	2,452,940	2,729,369
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	108,851	97,178
その他（純額）	39,916	29,158
有形固定資産合計	148,767	126,337
無形固定資産		
のれん	380,759	344,761
ソフトウェア	107,899	79,097
その他	129,220	163,399
無形固定資産合計	617,879	587,259
投資その他の資産		
投資有価証券	37,730	432,210
出資金	10	10
保険積立金	2,009	2,176
敷金及び保証金	217,809	202,213
その他	8,449	6,782
投資その他の資産合計	266,008	643,394
固定資産合計	1,032,656	1,356,990
繰延資産		
株式交付費	—	4,179
社債発行費	2,170	1,123
繰延資産合計	2,170	5,302
資産合計	3,487,767	4,091,662

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	308,638	355,317
前受金	84,230	90,168
短期借入金	450,000	450,000
1年内返済予定の長期借入金	258,545	245,619
1年内償還予定の社債	67,800	67,800
リース債務	14,302	15,149
未払金	126,778	168,491
未払法人税等	48,689	7,326
未払消費税等	35,165	52,092
賞与引当金	33,670	17,576
ポイント引当金	335,281	373,965
その他	87,738	93,762
流動負債合計	1,850,840	1,937,269
固定負債		
社債	101,700	67,800
長期借入金	540,399	365,116
リース債務	30,208	17,156
その他	31,188	67,836
固定負債合計	703,496	517,908
負債合計	2,554,336	2,455,177
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	429,162	878,500
資本剰余金	322,813	772,151
利益剰余金	3,034	△201,252
自己株式	△141	△141
株主資本合計	754,868	1,449,257
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	2,595	—
その他の包括利益累計額合計	2,595	—
新株予約権	340	233
非支配株主持分	175,626	186,994
純資産合計	933,430	1,636,484
負債純資産合計	3,487,767	4,091,662

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年10月1日 至平成30年6月30日)
売上高	3,354,087	3,394,990
売上原価	1,927,173	2,274,399
売上総利益	1,426,913	1,120,590
販売費及び一般管理費	1,443,726	1,294,264
営業損失(△)	△16,812	△173,673
営業外収益		
受取利息	71	5
為替差益	4,115	9,329
投資有価証券売却益	33,840	—
助成金収入	—	4,570
その他	9,060	4,020
営業外収益合計	47,087	17,925
営業外費用		
支払利息	7,554	8,853
社債発行費償却	1,506	1,047
投資有価証券評価損	21,680	169
株式交付費償却	—	522
支払保証料	832	—
その他	505	396
営業外費用合計	32,080	10,988
経常損失(△)	△1,806	△166,736
特別利益		
子会社清算益	—	3,877
保険金収入	10,000	—
特別利益合計	10,000	3,877
特別損失		
固定資産除却損	—	2,341
特別損失合計	—	2,341
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	8,193	△165,200
法人税、住民税及び事業税	43,851	18,305
法人税等調整額	6,763	9,412
法人税等合計	50,615	27,718
四半期純損失(△)	△42,421	△192,919
非支配株主に帰属する四半期純利益	24,572	11,367
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△66,994	△204,287



## 四半期連結包括利益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年10月1日 至平成30年6月30日)
四半期純損失(△)	△42,421	△192,919
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△2,207	△2,595
その他の包括利益合計	△2,207	△2,595
四半期包括利益	△44,629	△195,514
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△69,202	△206,882
非支配株主に係る四半期包括利益	24,572	11,367

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成30年3月2日付で、P C投資事業有限責任組合から第三者割当増資の払込みを受けました。この結果、当第3四半期連結累計期間において資本金が449,068千円、資本準備金が449,068千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が878,500千円、資本剰余金が772,151千円となっております。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等  
該当事項はありません。